

マルメ研修を終えて

学生時代に熊谷先生の講演を受講し、「真の患者利益の追求」の言葉を聞き自分自身の根底にある気持ちが震えた事を覚えています。患者にとって本当に価値のある歯科医療の姿とは何かを考え矯正科への道を歩み始めました。月日が過ぎ 2009 年の開業と同時にオーラルフィジシャン研修を受講しました。約 7 年後に予防歯科の先進国であるスウェーデン研修に参加できたことを嬉しく思っています。

今回の研修での目的は、エビデンスを用いた治療を行うための知識を補い臨床に活かすことと歯科医療に従事するものにとり必要な本質を知り今後の歯科医療で目指す方向性を確認するというものでした。

結果としては、大変有意義なセミナーであり考える思考を身につけるきっかけをつかむことができました。講義終了後の質疑応答に対して答えは端的な解答でやり方ではなくあり方を考えることに注力しエビデンスベースでの理解の必要性を再確認することが出来ました。これも研修での目的が明確で、緻密に組まれたプログラムをエリクソン教授やその他の講師の方がリードしサポートスタッフが一緒に研修の目的を理解し進めていただいたからだと思います。

砂糖の摂取、フッ化物の種類と適用方法、サリバテスト、リスク評価、キャビテーションモデル、ナショナルガイドライン、保険制度などの何故ではなく何のために行われているという目的が明確で分かりやすく講義を受け整理し自分なりに理解し目標としていたものは達成できたと思っています。

今回の研修において全てのプログラムが終了し何かが変わったという根底を覆すような事はありませんでしたが、オーラルケアの大竹さんもおっしゃっていましたが、「木を見て森を見るのではなく森を見て木を見る」スタンスを忘れず共に勉強した仲間とも沢山のディスカッションを行い目先の仕事ではなく大きな歯科医療の変革のなかで今やるべき事を日々の診療の中で歯科医療本質を忘れず邁進したいと思っています。

このセミナーの間、病院を支えてくれたドクターとスタッフに感謝し、この想いをスタッフや伝播させ地域の方々へ貢献出来るように歯科医療に携わりたいと思っています。